

新渡戸のたくましさ 学べ

札幌の市民団体「新渡戸稲造記念 遠友みらい塾」の講演会が19日、札幌市内で開かれ、同塾塾長の寺島実郎日本総合研究所理事長、空知管内沼田町出身の寺島氏が、新渡戸稲造に学ぶ日本人の生き方をテーマに話し、約80人が聞き入った。

同塾は、札幌に私学の夜学校「遠友夜学校」を設立した新渡戸の精神を学ぼうと、市民有志が10月に設立した。寺島氏は新渡戸が活躍した約100年前の国際情勢を解説し、「新渡戸は変動する時代を力強く生き抜いた」と強調。アジア諸国の台頭によって産業や経済にかけりが見える日本の現状に触れ、「現代人は新渡戸のたくましさをもっと学ぶべきだ」と話した。

(久保田昌子)

遠友みらい塾 寺島実郎塾長が講演



新渡戸稲造をテーマに講演する寺島実郎さん